

大好き図書館！
秋の読書週間イベントが終了しました！

10月27日(土)から11月9日(金)の「秋の読書週間」中に淡窓図書館で様々な行事を行いましたので紹介します。

●フワフワを守り隊（10月28日実施）



大分市で犬猫の殺処分『ゼロ』を目指す「フワフワを守り隊」を迎え、動物と人が共存できる社会づくりについての講演会を開催しました。また、隊長の櫻井さんの自作絵本と読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせなど『命』について考えることができました。

新刊情報

「ごきぶりホイホイ」生みの親
大塚正富のヒット塾
廣田章光・日経ビジネススク
ール/編
日本経済新聞出版社



オロナミンC、ごきぶりホイホイ、アースレッド・・・。ロングセラー商品を生み続けた男の思考と発想をマーケティングの視点で徹底解剖。

児童書が寄贈されました！

日田商工会議所女性会からチャリティー事業を通じて、124冊（児童書101冊、大型絵本2冊、中高生向け読み物21冊）を寄贈していただきました。昭和54年から続く寄贈は累計5,316冊となりました。玄関入ってすぐのスペースに展示していますので是非ご利用ください。



おいでよ！
おはなし会

- とき
1月12日(土)
午後3時～3時30分
1月26日(土)
午前11時～11時30分
- ところ
児童コーナー

1月の休館日（○…休館日）

日	月	火	水	木	金	土
		①	②	③	④	⑤
6	⑦	8	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	⑳	22	23	⑳	25	26
27	⑳	29	30	31		

コラム

心の架け橋

ご存知ですか？～耳や言葉に障がいのある人の緊急通報～

緊急時にすぐに助けを呼べることは、生活する上で安心につながります。

緊急時には「110番」や「119番」に電話をかけることは、皆さんもよく知っていることと思います。それでは、耳や言葉に不自由があり、電話を日頃から使えない人はどうしたらよいのでしょうか。

日田市には聴覚障がいの人が約270人います。その他、何らかの病気が障がい等で言葉が不自由な人も多くいます。そういった人が、緊急時に通報できる体制を県や市では整えています。

まず「110番」ですが、メール (toyonokuni-110@canvas.ocn.ne.jp) やFAX (☎097-538-3110)

での通報が可能です。また、電話でも110番に通報し、話をしなくても、通話の状態にしておくだけで、警察が居場所を特定し、駆けつけることができます。

次に「119番」ですが、こちらは日田消防署へのFAX (☎119) が可能です。市役所や消防署に緊急通報カードがあります。カードは必要事項に○をつけることで簡単に記入ができ、便利です。必要な人は、市役所・日田消防署にご相談ください。



◀詳細は市ホームページ、又は左記二次元コードからご確認ください。

☎社会福祉課障害福祉係 ☎28290
☎日田消防署 ☎22204

世界遺産登録を目指す「咸宜園」 - 近世日本の教育遺産として - (人物編 田能村竹田)

淡窓・咸宜園と交流のあった文人・墨客たち②

☎世界遺産推進室（咸宜園教育研究センター内） ☎20268



前回、頼山陽が日田を訪れたのは、田能村竹田(写真)の勧めがあったと書きました。周知のように竹田は豊後竹田の人、当時日本を代表する画人として知られる人でした。文政二年(一八一九)閏4月、その竹田が日田にやって来て限町の森荊田宅に逗留しました。この時、竹田は淡窓の門人で医師の館林清記に託して自身の著書である「卜夜快語」を淡窓に届けています。この本は、その前年に頼山陽が竹田を訪ねた時の様子を記述したものでした。そして5月14日には淡窓が森家に竹田を訪ねました。これが淡窓と竹田の初対面でした。

竹田はその後、文政八年(一八二五)2月にも日田に訪れ、この時も淡窓は、森荊田のいとこである森春樹の案内で再び竹田と会い、食事を共にしています。淡窓は弟の旭荘を竹田の宿泊先に行かせ挨拶をさせています。応えて竹田は淡窓に「桃花図」を描いて贈りました。

その後、竹田は日田を去りますが、同年8月には三度日田にやって来て淡窓を訪ねました。この頃、咸宜園では塾生の多くが脚気を患っており、淡窓自身も病に伏していました。ですから、この時の竹田の訪問は淡窓と咸宜園の塾生たちに対する病氣見舞いであつたのでしょうか。このような竹田との出会いについて、淡窓はその「日記」に逐一書き留めています。

こうした交流の中で、淡窓は竹田の絵に詩を寄せするなどしています。その詩は淡窓の詩集「遠思樓詩鈔」

に収録されています。このように竹田が再々日田を訪れ、限町の森家に逗留したのには相応の事情がありました。

当時、森家を含む日田の豪商たちは、この時代の文人・画家にとつて何より頼りとなる存在でした。彼らはいわば文人・画家たちのスポンサー的な役割を果たしたわけですが、それにとどまらず、これらの豪商たちは、中国の絵画をはじめ広く国内外の優れた芸術品を所蔵していました。これらの貴重な書画に接しようとして多くの文人・画家たちが日田にやって来たのです。竹田のほかに頼山陽・貫名海屋・木下逸雲らをはじめとする著名な文人が、江戸時代を通じて多数この地を訪れたのもこのような事情がありました。そして、このような天領日田の文化的な気風は、私塾咸宜園の門下生を通して、広く各地に伝えられていたのです。

淡窓の「儒林評」には竹田について「田能村竹田ハ豊後竹田ノ人ナリ。画ヲ善クシ、詩ヲ善クシ、数々京撰ノ間ニ遊ビ、頼山陽・篠小竹ノ輩ト社盟ヲ結ブ。故ニ其名譽京撰・山陽ノ間ニ喧伝セリ。」などと述べ、竹田の画と詩を高く評価しています。対する竹田も淡窓の人柄と学識に深い敬意を抱いていたようで、自分の息子太一や弟子の帆足杏雨らを咸宜園に入塾させるなどしています。



所蔵：竹田市立歴史資料館

食生活改善推進員さんのおすすめレシピ

ほうれん草ののり和え

ほうれん草は葉が青々として厚みがあり、根元が太く赤色が鮮やかなものが良品です。根元の赤色はミネラルの一種マンガンの色で、この赤色が強いほど甘みが強いと言われています。根元を切り落とすときは、赤い部分をできるだけ残すようにしましょう。



■材料■ (2人分)

ほうれん草	100g	ちくわ	20g	みりん	小さじ2/3
まいたけ	20g	しょうゆ	小さじ1	刻みのり	適量

<作り方>

- ①ほうれん草はゆでて水気を絞り、4cm幅に切る。まいたけは石づきを取り、食べやすい大きさに裂いてゆでる。ちくわは縦半分に切り、3mm程の薄切りにしてゆでる。
- ②ほうれん草、まいたけ、ちくわの水気をしっかり切って、しょうゆ、みりんと和える。
- ③盛り付ける直前に刻みのりを和える。

☎健康保険課健康支援係 ☎3000